

平成30年度 第3回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成30年12月7日 金曜日 午後3時00分～午後3時50分		
開催場所	函館市南茅部総合センター 講堂		
内 容	○委嘱状交付 ○議 題 (1) 函館市南茅部地域審議会会長および副会長の選出について ○地域振興全般に関する意見交換 ○その他 (1) 前回の地域審議会での質問への回答について (2) 平成30年度の世界遺産国内推薦案件の決定について (3) その他		
出席委員	◎熊谷儀一委員      ○高谷大喜委員      藤川健一委員      張磨芳子委員 嵐田由喜子委員      佐々木孝比古委員      佐藤幸江委員      工藤千春委員 (◎：会長      ○副会長)      (計8名)		
欠席委員	中村正俊委員      佐藤俊司委員      成田英晴委員      坂井満委員 坂本裕太委員      野口慶太委員      熊谷真理子委員 (計7名)		
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長      佐藤友則 同地域振興課長      佐藤安浩 同市民福祉課長      吉田修一 同産業建設課長      西村雅人 同地域振興課主査      佐々木愛 同地域振興課主任      村上周平 同市民福祉課主査      阿部薫 同産業建設課主査      中村俊大 南茅部教育事務所長      赤城司 同教育事務所主査      種谷文秀 市立函館南茅部病院事務長      佐藤哲人 (計11名)		
そ の 他	・報道関係      北海道新聞社      (計1社) ・傍聴者      (計0名)		

委嘱状交付	
地域振興課 (佐藤課長)	地域審議会の開会に先立ち、支所長から皆様に委嘱状を交付する。 任期は2018年12月1日から2020年3月31日までとなっている。 (委嘱状を交付)
1 開会	
地域振興課 (佐藤課長)	ただ今から、平成30年度第3回函館市南茅部地域審議会を開催する。
2 支所長あいさつ	
佐藤支所長	<p>皆様方におかれては、大変お忙しい中、委員の就任をお引き受けいただき、また、師走に入り時節柄何かと御多忙の中、今シーズン初の本格的な降雪により足元の悪い中、御出席を賜り御礼を申し上げます。また、平素より当地域の振興はもとより、市政全般にわたり御理解と御協力をいただいていることに対して、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。平成16年12月の合併から14年が経過したところであり、これまでを振り返ると、基幹産業である漁業の各種振興策のほか、新川汲トンネルや尾札部道路の豊崎ひろめトンネルまでの開通を初め、縄文文化交流センターのオープン、消防庁舎の移転新築、南茅部総合センターのリニューアル、認定こども園の開設、さらには史跡垣ノ島遺跡の整備など、合併建設計画に掲げた各種事業が、順調に実施されてきた。当地域の垣ノ島、大船の2つの遺跡については本年7月「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産国内推薦候補に選定され、11月にはユネスコへの推薦とはならなかったものの来年の推薦を大いに期待しているところである。一方で皆様御承知のとおり、当市においては、毎年約3,000人規模で人口が減少し少子高齢化が進んでいる状況であり、これに伴う歳入の減少、社会保障費等の増大が長期にわたり続くことが見込まれていることから徹底した行財政改革に取り組んでいかなければならないところである。支所としては、こうした厳しい状況ではあるが、地域の声に真摯に耳を傾けながら、住民の皆様と一体となって地域づくりに努めてまいり所存である。今後も御理解と御協力を賜るようよろしくお願い申し上げます。</p> <p>結びになるが、当地域審議会は、地域の振興発展のため重要な役割を担っている。合併建設計画の終了に伴い最後の任期となるが、今後も皆様からの貴重な御意見・御提言を賜るようよろしくお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。</p>

### 3 委員等の紹介

地域振興課  
(佐藤課長)

委員の皆様を委嘱状交付の順に、御紹介する。  
熊谷儀一委員，所属は南茅部町内会連絡協議会である。藤川健一委員，所属は同じく南茅部町内会連絡協議会である。張磨芳子委員，所属は函館市第29方面民生児童委員協議会である。嵐田由喜子委員，所属は函館市社会福祉協議会南茅部支所地域懇話会である。佐々木孝比古委員，所属は函館市南かやべ縄文文化創生の会である。佐藤幸江委員，所属は函館市南茅部女性団体連絡協議会である。工藤千春委員，公募による委員である。高谷大喜委員，公募による委員である。次に，本日所用のため欠席している委員を紹介する。南かやべ漁業協同組合所属の中村正俊委員，函館市PTA連合会所属の成田英晴委員，函館市南茅部消防団所属の坂井満委員，南かやべ漁業協同組合青年部所属の坂本裕太委員，函館東商工会青年部所属の野口慶太委員，函館市南茅部女性団体連絡協議会所属の熊谷真理子委員，函館東商工会所属の佐藤俊司委員である。以上15名の委員である。

次に，職員を御紹介する。

南茅部支所長の佐藤，南茅部支所市民福祉課長の吉田，南茅部支所産業建設課長の西村，南茅部教育事務所長の赤城，市立南茅部病院事務長の佐藤，南茅部支所地域振興課主査の佐々木，同じく地域振興課の村上，市民福祉課主査の阿部，産業建設課主査の中村，教育事務所主査の種谷，教育委員会生涯学習部文化財課長の蛭子井，同じく文化財課主査の福田，私は，南茅部支所地域振興課長の佐藤である。

### 4 出席委員の報告

地域振興課  
(佐藤課長)

本日は，出席者8人，欠席者7人であり，出席者が過半数に達していることから，地域審議会の設置に関する規程第8条第3項の規定により，会議が成立していることを報告する。

### 5 議題

#### (1) 函館市南茅部地域審議会会長および副会長の選出について

地域振興課  
(佐藤課長)

議題に入る前に私から地域審議会の概要について説明する。  
資料1を御覧いただきたい。地域審議会の設置と役割についてであるが，「市町村の合併の特例に関する法律」の規定に基づき設置することとしており，合併協議会での協議を踏まえ，5市町村で協議し，東部4地域に設置されたもので，名称は，「函館市南茅部地域審議会」である。合併建設計画の変更や執行状況等に関して，市長からの諮問に応じ，審議，答申をする市長の附属機関としての役割がある。また，南茅部地域の事業や地域振興に関する事項について御意見等をいただく場として，地域と行政をつなぐ重要な役割を担っていただくものである。設置期間は，平成16年12月から平成32年3月までである。委員数および任期は，委員数は15人以内で学識経

	<p>験者および公募の委員となっており、任期は、2018年、平成30年12月1日から設置期間終了までの2020年、平成32年3月31日までである。地域審議会の庶務については、支所が行う。</p> <p>次に、合併建設計画について、御説明させていただく。この計画は、平成16年12月の5市町村の合併に当たり、合併後の速やかな一体化を推進し、住民福祉の向上と地域特性に応じた振興発展を図るうえで、合併後の新たなまちづくりの基本方針を定め、これを実現するための施策の展開としての基本計画および財政計画を合併協議会において策定したものである。計画期間は合併年度から平成26年度までとしていたが、東日本大震災の発生等の実情などを鑑み、合併特例債の発行期限が延長されたことから、当市においても、期間を延長し引き続き「合併建設計画」の各種事業について、合併特例債を活用しながら推進していくために、計画期間を5年間延長したところである。参考に合併建設計画のダイジェスト版を資料配布している。5ページを御覧いただきたい。5つの基本目標を定めており、8ページから12ページまでが基本計画となっており、当審議会では、これらの主要施策についての進捗状況などについて、御意見等をいただくものである。</p> <p>以上、地域審議会の概要等について説明したが、質問等あるか。</p> <p>(なし)</p>
<p>地域振興課 (佐藤課長)</p>	<p>日程5の議題に入る。地域審議会会長および副会長の選出についてであるが、規程により会議の議長は会長が務めることとなっている。会長選出までの間は、佐藤支所長にお願いしたいがよろしいか。</p>
<p>佐藤支所長</p>	<p>(異議なし)</p> <p>議題(1)函館市南茅部地域審議会会長および副会長の選出について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>地域振興課 (佐藤課長)</p>	<p>資料2を御覧いただきたい。南茅部地域審議会会長および副会長の選出についてであるが、地域審議会の設置に関する規程第7条の規定に基づき、南茅部地域審議会の会長および副会長を選出するもので、選出は、委員の互選となっている。御審議をよろしく願います。</p>
<p>佐藤支所長</p>	<p>事務局からの説明のとおり、会長および副会長の選出については、委員の互選ということとなる、どのような互選方法がよいのか御意見はあるか。</p>
<p>藤川委員</p>	<p>推薦がいいと思う。</p>

佐藤支所長	<p>選出方法について、推薦との御意見があるが、ほかに御意見はあるか。</p> <p>(なし)</p>
佐藤支所長	<p>ほかに御意見がないので、推薦による選出とする。どなたか推薦される方はいるか。</p>
藤川委員	<p>会長には熊谷儀一委員を推薦する。副会長には高谷大喜委員を推薦する。</p>
佐藤支所長	<p>ただ今、藤川委員から会長に熊谷儀一委員を、副会長に高谷大喜委員を推薦されたが、ほかにあるか。</p> <p>(なし)</p>
佐藤支所長	<p>会長には熊谷儀一委員、副会長には高谷大喜委員に決定することよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
佐藤支所長	<p>会長には熊谷儀一委員、副会長には高谷大喜委員に決定する。</p>
地域振興課 (佐藤課長)	<p>会長および副会長が選出されたので、熊谷儀一委員と高谷大喜委員には会長、副会長席に移動をお願いする。改めて、熊谷会長から就任のごあいさつをいただきたい。</p>
熊谷会長	<p>会長就任に当たり一言ごあいさつを申し上げます。当地域審議会は、平成16年12月に設置され、8期目に入り、15年目を迎えた。この間、当審議会では、大きな役割の1つである合併建設計画の変更や執行状況について、市長へ答申をしてきた。委員の皆様からは、地域に関して様々な御意見や御提言をいただき、地域振興のための一翼を担ってきたものと思っている。この後2020年3月までの1年4か月間、最後の審議会になるが、大変責任の重い会長として高谷副会長とともに地域の振興発展のために力を尽くしてまいりたいと考えているので、関係部局の方々、委員の皆様の御協力をお願い申し上げて就任のあいさつとする。よろしくお願ひする。</p>

6 地域振興全般に関する意見交換	
熊谷会長	地域振興全般に関する意見交換を行う。御意見・御提言はあるか。  (なし)
熊谷会長	次の審議会までに気の付いた点があれば、皆さんに述べていただきたい。
7 その他	
(1) 前回の地域審議会での質問への回答について	
熊谷会長	(1) 前回の地域審議会での質問への回答について、報告をお願いします。
南茅部病院 (佐藤事務長)	前回の地域審議会で、会長から報告の依頼を受けていた無料通院バスについて御報告させていただく。 病院では無料通院バスについて経済的負担軽減など患者サービスの充実や患者の確保等、病院経営に極めて有効なものと考え、平成20年10月より支所の福祉バスを利用し、毎週火曜日に運行していただいているが、地域の人口減に伴う外来患者数の減少やバス利用者の施設入所などにより利用者が年々減少している。バスの運行日に、患者が集中し待ち時間が長くなり、予定どおりにバスの運行ができないこともあり、御不便をかけている状況もあったことから、運行回数を増やせないかなどの検討もしてきたところであるが、定期的に運行日を増やすことは、なかなか難しいものと考えている。しかしながら、無料通院バスは地域にとっては必要なものと考えており、今後とも支所の協力をいただきながら、継続していきたいと考えているのでよろしく願います。 また、もう1点御報告がある。11月から当院において、市立函館病院整形外科医による外来診療を開始した。整形外科診療については、毎月、第3金曜日の午後の月1回で、受付時間は午後1時30分から3時30分までとなっている。12月については、都合により第2金曜日の12月14日の午後となる。また、毎月の整形外科診療日については、防災無線でも周知させていただくのでよろしく願います。 以上である。
熊谷会長	質疑に入る。質問はあるか。  (なし)
熊谷会長	通院バスは今後も運行させるということである。 整形外科が開設されてまだ1回の診察だが、患者数を教えていただきたい。

南茅部病院 (佐藤事務長)	1 1月16日の午後に整形外科の診療を開始したが、患者数は14名であった。
熊谷会長	14名の患者の中から何か要望などは出ていないか。
南茅部病院 (佐藤事務長)	特になかった。
熊谷会長	14名が多いのか少ないのかは別にして、今後患者が増えてくれればと思う。旧市内に行くのは大変であり、整形外科の件については、過去に市にお願いした経緯もあり、開設されたことは大変ありがたいと思う。旧市内に行かずに南茅部病院を受診する患者さんが増えれば病院も収支ともに改善されると思う。
(2) 平成30年度の世界遺産国内推薦案件の決定について	
熊谷会長	(2) 平成30年度の世界遺産国内推薦案件の決定について、報告をお願いする。
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>1 1月2日に内閣官房長官から今年度の世界遺産の国の推薦候補案件について、自然遺産の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を政府として推薦候補とするという発表があった。非常に残念な結果であったが、今後も縄文遺跡群の世界遺産登録を早期に実現できるように取り組んでいきたいと考えているので、皆さんの御支援と御協力を引き続きお願いしたい。一方で7月19日には世界文化遺産の国内推薦候補に選定されているので、もろもろの作業は引き続き進めている。それに伴って垣ノ島遺跡、大船遺跡の緩衝地帯（バッファゾーン）部分の地権者の皆様を対象に11月5日と9日に説明会を開催している。内容については、縄文遺跡群の紹介とこれまでの取り組みの状況、今後の予定、遺跡の周りを含めた保存と活用についてということであるが、バッファゾーンの範囲は、まだ確定していないので、まずは現在想定している範囲の中の地権者の方を対象とした説明会を開催させていただいた。地元からも御意見をいただいているところであるが、12月下旬に縄文遺跡群の会議があるので、その中で今後の動きがわかってくることもあるので、追って説明会を開催させていただくこととしている。3月中旬から下旬にかけて臼尻町内会、大船町内会の住民の方を対象に世界遺産関連の説明会を開催しようと考えていることをあわせてお知らせする。詳細が決まれば御報告させていただきたい。</p> <p>資産の1つの垣ノ島遺跡であるが、今年度は、盛り土遺構をできるだけ縄文時代に近い地形に復元する整備を進めており、先ごろ工事が大体終わったところである。現地は全ての芝生を植えていないため、ブルーシートで養生</p>

	<p>している状況であるが、来年の秋頃には全て芝生を植える予定である。また、来年度は体験広場などの整備に入っていくので、だんだん公園のような整備としていく状況になっている。</p> <p>以上である。</p>
熊谷会長	<p>質疑に入る。質問はあるか。</p>
藤川委員	<p>奄美などの自然遺産を候補として決定したことについてであるが、その決定に当たって委員会のようなものはあるのか。あるならその委員会の構成などはわかるのか。どういう構成であるか、その中に大臣とか入っているのか聞きたい。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>委員会組織で決められたものではない。縄文遺跡群は文化庁，文部科学省が，自然遺産は環境省が所管している。それぞれ話し合われる母体の審議会があり，それぞれから推薦をされているが，最終的には政府の閣議で協議されてどちらにするかということになる。委員会があつてそこで審議されるというものではない。</p>
藤川委員	<p>了解した。</p>
熊谷会長	<p>そのほかはないか。</p> <p>(なし)</p>
熊谷会長	<p>先般市議会の総務常任委員会でも勉強会を開催したと伺っている。市と市議会との連携みたいなものはどういう形で取り組まれているのか，わかればお願いします。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>今年，総務常任委員会での調査案件として，世界遺産の登録に向けて地元としてどういった取り組みをしていくべきか，と議員側からもいろいろと考えてみたいということで取り組まれている。勉強会は通常，議員同士で話し合われるケースがほとんどであるが，専門的な分野であるため縄文遺跡群やこれまでの世界遺産への取り組みをどういった形で行ってきたのかということについて，総務常任委員会として勉強したいということで要請があり，私と福田で出席し説明したものである。その後，総務常任委員会の委員と私も同行させていただき，先進的に取り組まれている「明治日本の産業革命遺産」として登録されている大牟田市と佐賀市のそれぞれの役所を訪問させていただいて，地元としてどのように取り組んできたか，世界遺産に登録された後どういった動きをしてきたかということ視察してきた。それらをもと</p>

熊谷会長	<p>に11月15日に、総務常任委員会として調査結果を取りまとめ報告書として提出された。その中では、今年取り組んだようなシャトルバスの運行や道路の早期整備や遺跡の景観など様々な視点で調査した内容を取りまとめられて報告されている。今後そういったものを参考にしながら私たちとしても業務を進めていきたい。</p> <p>シャトルバスを試験的に運行した結果をお聞きしたい。議会との連携は今お聞きした中ではそれなりに取り組みはしているということであるが、今でなくてもいいので次回の審議会までに、世界遺産登録に向けて周辺を整備しなければならないという思いが市長にもあるようなので、わかる範囲で結構なので、具体的にこういう整備をしていくとそれで推薦に向けてアピールしていくというものがあれば次回また報告していただければと思う。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>シャトルバスの概略から御説明するが、8月4日から9月いっぱい土曜と日曜と祝日と夏休み期間の金曜で、予定は22日間であったが9月6日の地震で停電があったので2日間お休みして20日間運行している。支所を経由する路線バスに合わせて日に3便。大船遺跡に上がる市道が狭いことから一般車両の乗り入れを制限させていただいて警備をつけて対応をしたため、その代替えとなるバスということで縄文文化交流センターから大船遺跡までシャトルバスを走らせる日には5便、合わせて8便を運行した。実際には支所からシャトルバスに乗られた方は20日間で97名であった。バスは支所のバスを活用させていただいたのと、縄文文化交流センターと大船遺跡間は民間のバス会社をお願いした。支所のバスは37人乗りで、乗車率でいけば支所から乗られた方は4.4%、縄文文化交流センターと大船遺跡間のシャトルバスについては371名の方に御乗車いただき、大き目のバスのため乗車率は11%程度で数字的には小さかったが、実質的にはそれなり的人数が乗られて、活用されていたのかなと評価している。</p>
熊谷会長	<p>今後も結果を踏まえてシャトルバスを運行するかどうかを検討されると思うので、できれば運行していただければもっと人の入り込みが多くなるのかなと思うので何卒検討をよろしく願います。先ほどの件については次回で結構なのでよろしく願います。</p>
教育委員会 (蛭子井課長)	<p>今、会長が言われたのは市長の発言、駐車場の整備などのことと思う。現在は縄文文化交流センターの駐車場に大型バスが5台と35台の一般車両を止められる。お祭りやイベントがある時には斜め向かいにある民間の用地をお借りしている状況である。今年の夏の間も7月19日に国内推薦候補に選定されたことから来られる人が増えるかなということなので所有者に貸していただけようお願いしていたが、実際には臨時駐車場を使わずに、現在の駐車</p>

熊谷会長	<p>場が満車の状態でもうまい具合に入れ替わっていく形で対処できた。市長の発言については、議事録を拝見させていただいており、今後予算の協議の中で話し合われていくと思う。我々としても世界遺産に登録された後は、世界遺産センターの誘致といった動きも出てくると思う。それが函館につくられるものなのかどうかという部分もあるが、どの程度の整備が必要で、どうやっていくのかということは今後検討していく課題であると思っている。</p> <p>来年のバスの運行やソフト面の動きは現在予算要求の途中のためはっきりと申し上げられないが、一定程度イベント的なものも含めて考えている。予算が決まれば詳しく御説明したいと思っている。よろしく願います。</p> <p>そのほかにあるか。</p> <p>(なし)</p>
(3) その他	
熊谷会長	<p>赤城所長に願います。学校再編に伴って、今中学校が統合されようとしている。新校舎の建設予定地は決まった。通学路や校舎の基本設計は、まだ決まっていないと思う。基本設計がつけられる前に、教育委員会でできるかぎり地域の人たち、PTAの人たちと話をするというのが基本なのかなと思っている。確か過去には綿密にPTAや地域との懇談会を開くという話があったと思う。PTAや地域の人たちからいろいろな要望もあるみたいなのでその辺を聞いていただくためにも、ぜひせっぱ詰まった状態でなく余裕のあるうちに皆さんのお話を聞いていただければというお願いである。よろしく願います。</p>
熊谷会長	<p>ほかはないか。</p> <p>(なし)</p>
地域振興課 (佐藤課長)	<p>平成30年度第3回函館市南茅部地域審議会を終了する。</p>
(午後3時50分閉会)	